



# おきぎん経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2016年3月29日

各位

株式会社 おきぎん経済研究所

「第63回おきぎん企業動向調査」  
(2016年1-3月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：高良

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

## 第 63 回おきぎん企業動向調査(2016 年 1-3 月期)調査結果

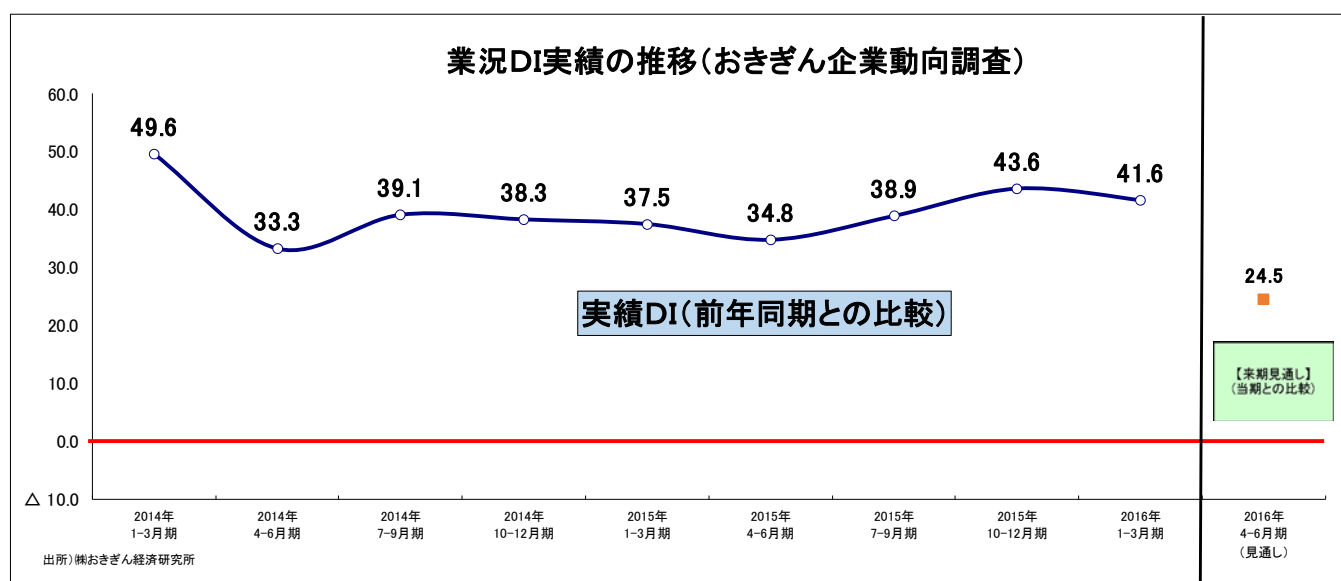
～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2016 年 4-6 月期見通し)～

### I. はじめに

#### 1. 調査の結果

【業況DIの推移】	2015年				2016年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期 (見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
<b>全業種計</b>	<b>37.5</b>	<b>34.8</b>	<b>38.9</b>	<b>43.6</b>	<b>41.6</b>	<b>24.5</b>
製造業	34.7	28.0	41.7	47.7	42.6	25.5
土木業	42.9	42.9	34.8	37.5	47.4	5.3
建築業	43.1	36.3	43.7	45.2	44.3	19.6
卸売業	27.9	25.4	26.0	37.5	30.5	22.0
小売業	22.5	30.1	38.0	35.0	27.1	25.4
情報通信サービス業	44.4	66.7	53.8	37.5	33.3	33.3
医療・福祉	26.7	8.7	20.0	20.0	22.7	27.3
その他サービス業(宿泊・飲食等)	56.3	46.3	60.8	70.6	52.5	33.9
その他(不動産、運輸等)	45.3	41.2	36.1	45.6	52.4	27.4

- 2016 年 1-3 月期の業況DIは **41.6** (前年同期比) となり、**全業種で業況改善の動き**がみられ、2011 年 7-9 月期より 19 期連続のプラスとなりました (2 桁プラスは 2012 年 1-3 月期より 17 期連続)。
- 2016 年 4-6 月期の業況見通しDIは **24.5** (2016 年 1-3 月期比) となり、引き続き**全業種で業況改善の動き**が見込まれます。



2. **調査の概要**: 本調査では各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、採算等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、来期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめました。

- a. 調査時期: 2016年2月中旬～3月上旬  
 b. 調査対象: 県内企業 449社 回答  
 c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(問合せ等) ⑦雇用  
 ⑧設備・その他投資需要(第51回調査までの「IT関連投資」と「その他の投資」を統合)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

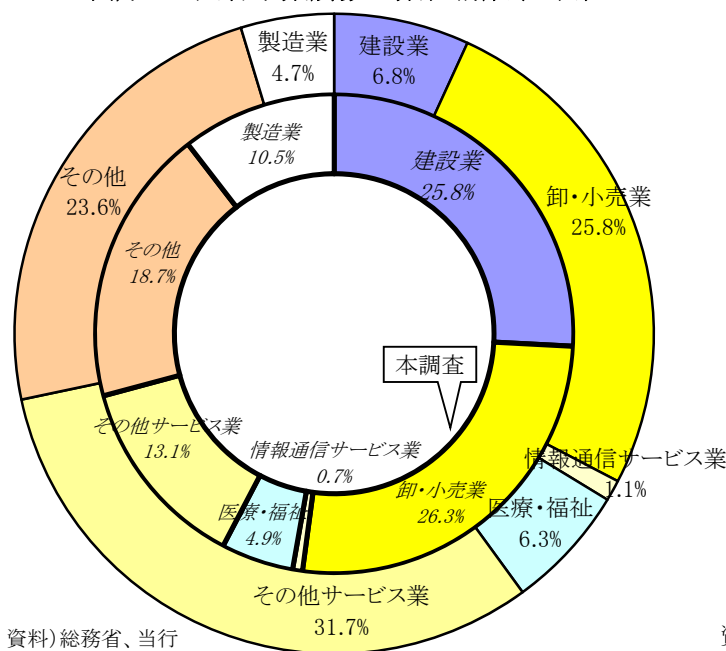
②DI(景気動向指数) = 「好転・上昇・増加」の割合(%) - 「悪化・低下・減少」の割合(%)

従って、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)とご覧いただけます。

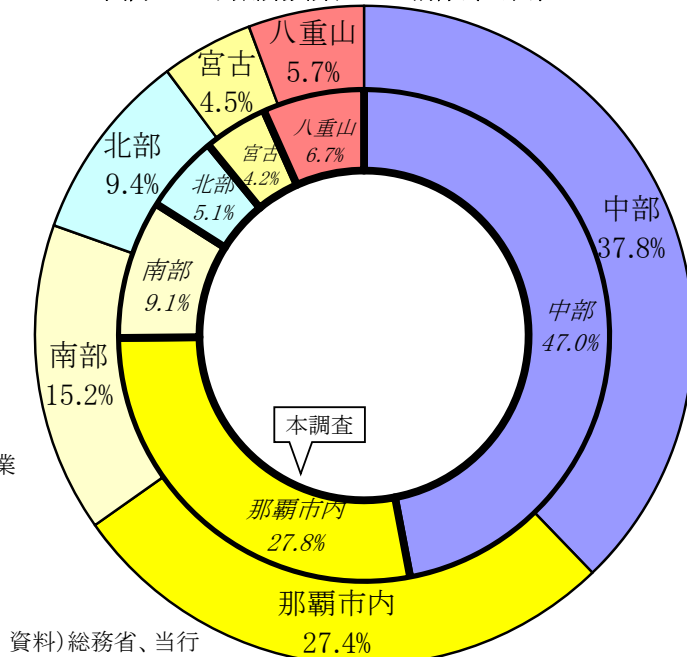
3. **調査対象企業の業種・所在地構成**

- 本調査の業種構成を県内事業所データ(2012年経済センサス基礎調査)と比べると、【建設業(本調査では土木・建築業)】、【卸・小売業】、【製造業】はサンプリング数が多く、【その他サービス業(宿泊、飲食等)】、【その他(不動産、運輸等)】、【医療・福祉】、【情報通信サービス業】はサンプリング数が少なくなっています。
- 所在地構成については、中部・那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、  
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



県内の事業所数所在地の構成(外円)、  
本調査の事業所数所在地の構成(内円)

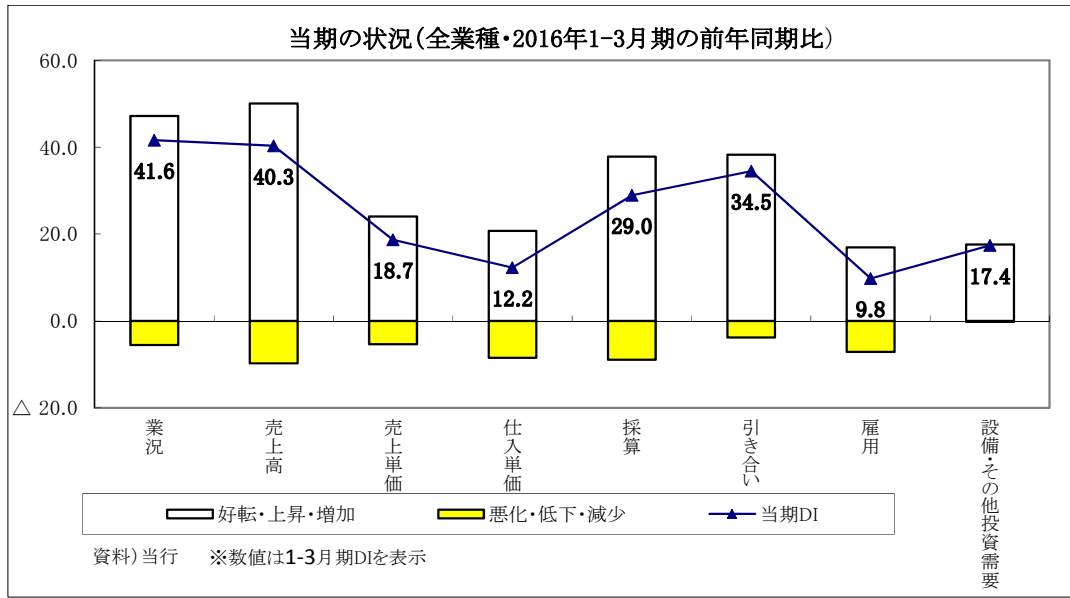


## II. 調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

### 1. 全業種

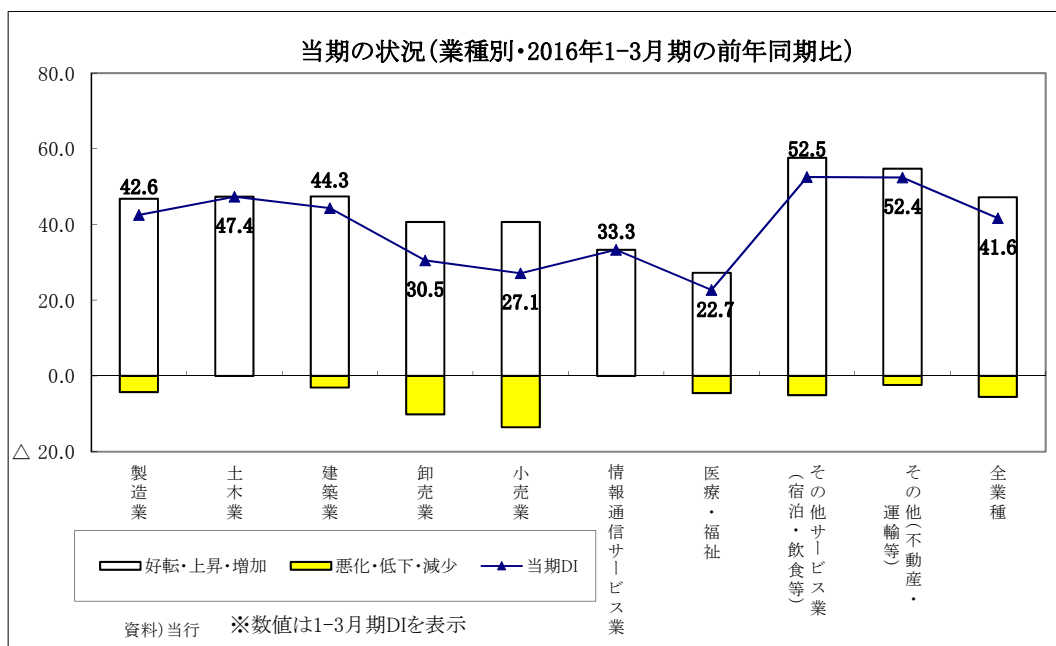
#### a.①当期の状況(項目別・2016年1-3月期の前年同期比)

当期の業況は **41.6** となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共・民間工事の受注増加や国内外観光客の需要増加などから、売上高(40.3)や引き合い(34.5)をはじめ、多くの項目で改善の動きがみられます。一方で、一部では為替や資材価格高騰などの影響から、仕入単価(12.2)の上昇が懸念されています。



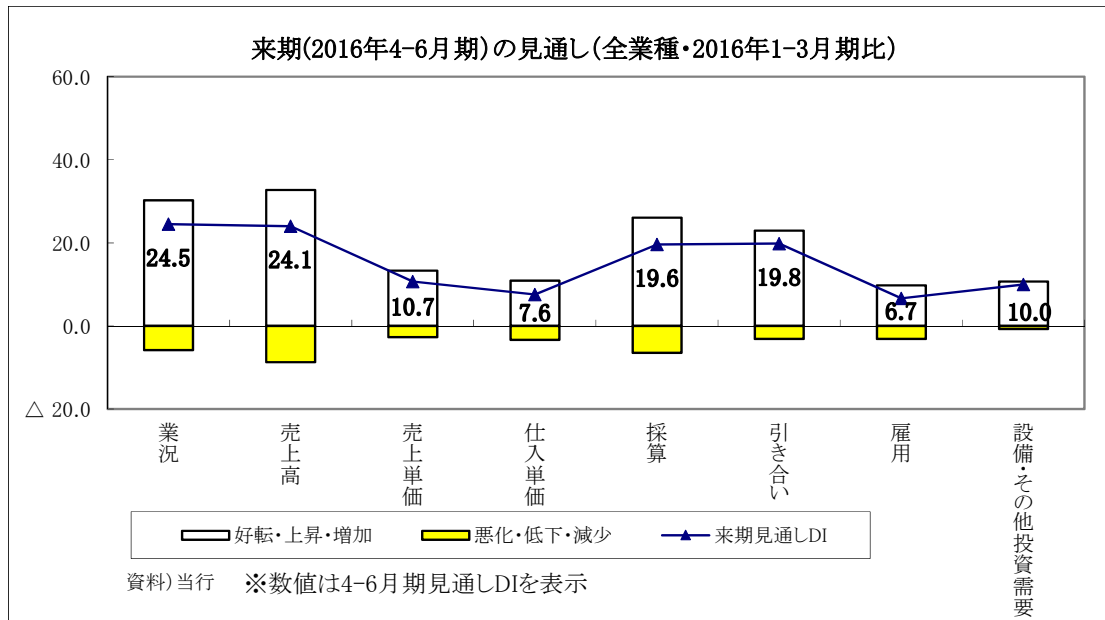
#### a.②当期の状況(業種別・2016年1-3月期の前年同期比)

業種別では、全ての業種において業況改善の動きとなりました。国内外観光客の需要増加がみられる【**その他サービス業(52.5)**】をはじめ、【**その他(52.4)**】、【**土木業(47.4)**】、【**建築業(44.3)**】などにおいて、全業種 DI を上回る強さがみられます。



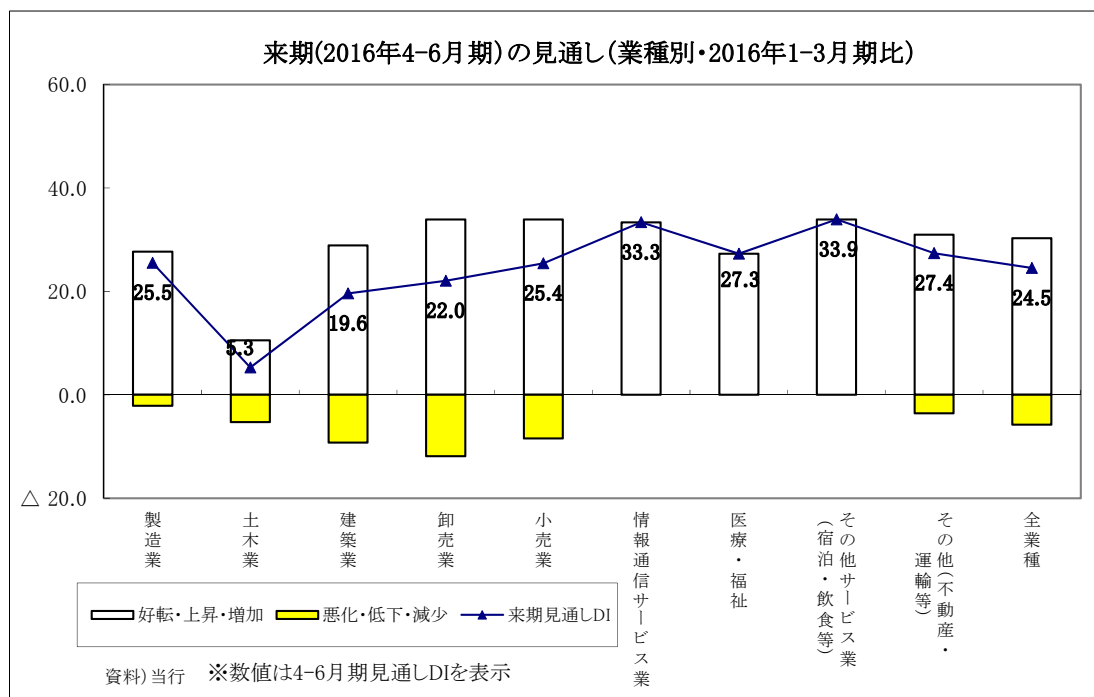
b.①来期の見通し(項目別・2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

来期見通し業況DIは24.5となり、引き続き、業況改善の動きが見込まれます。引き続き、公共・民間工事の受注増加や国内外観光客の需要増加などから、売上高(24.1)・引き合い(19.8)・採算(19.6)をはじめ、多くの項目で改善の動きが見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

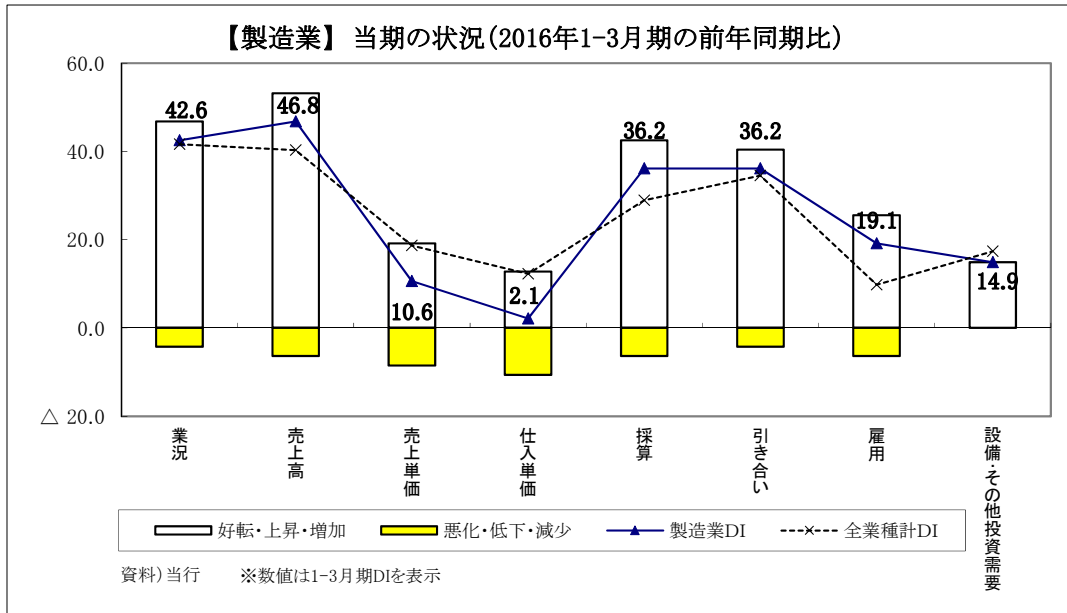
業種別では、全業種において業況改善の動きが見込まれます。【その他サービス業(33.9)】、【情報通信サービス業(33.3)】、【その他(27.4)】などにおいて、全業種DIを上回る強さが見込まれます。



## 2. 製造業

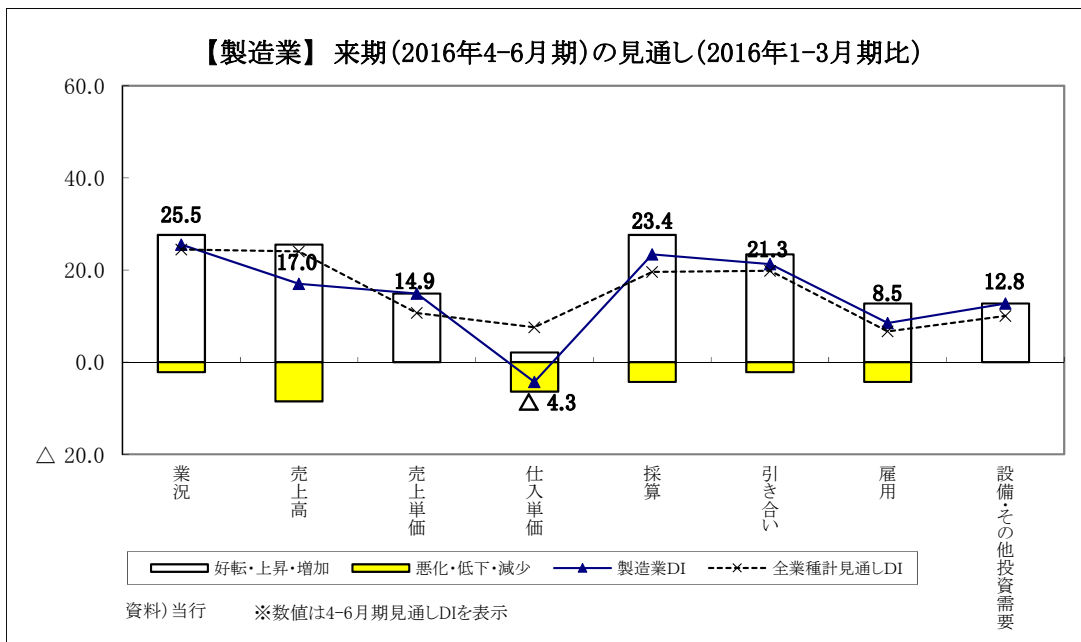
### a. 当期の状況(2016年1-3月期の前年同期比)

業況DIは42.6となり、全体としては業況改善の動きがみられます。生コン製造業(二次製品含む)やアルミ製造業では、公共工事や民間アパート建築の年度末竣工に向けた工事の増加などにより、売上高・引き合い・採算の増加がみられます。食品・菓子・泡盛製造業では、インバウンド(訪日観光客)需要の増加による消費押し上げ効果や販路拡大などにより、売上高・採算・引き合いの増加がみられます。また、一部では為替や原油価格の影響から仕入単価が減少するなど、採算が改善している事業者がみられます。



### b. 来期の見通し(2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

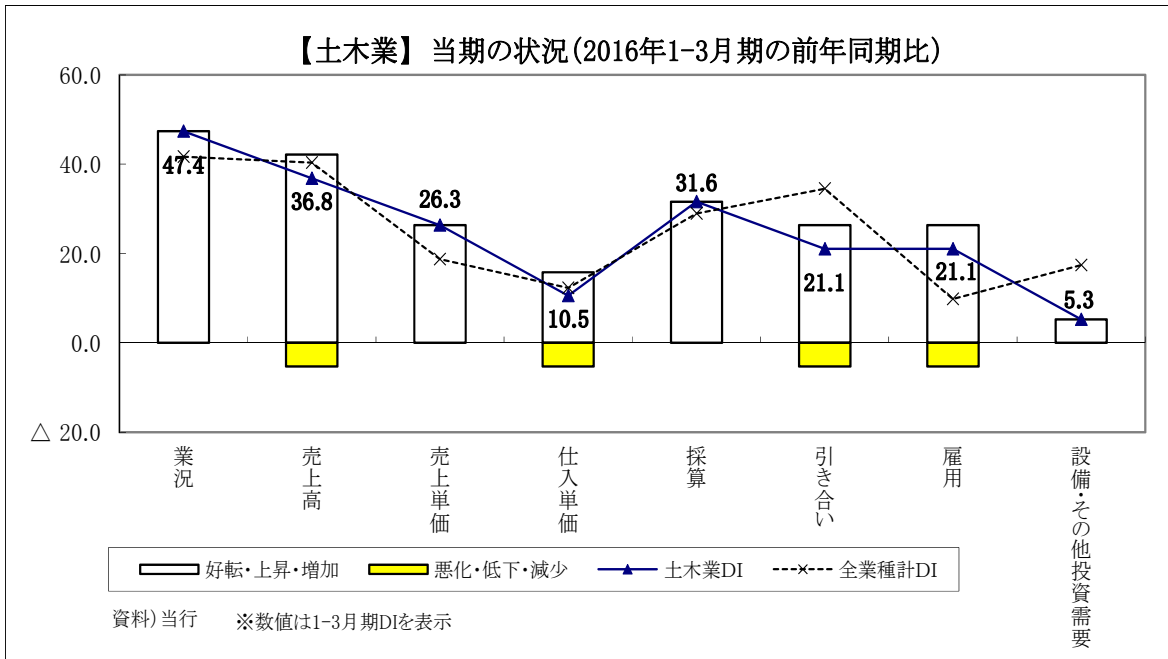
見通し業況DIは25.5となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。食品・飲料・菓子製造業では、引き続き、ゴールデンウィークなど国内外観光客の需要増加が見込まれ、売上高・採算・引き合いの増加が期待されています。また、一部では為替や原油価格の影響により仕入単価が減少し、採算の改善を見込む事業者もみられます。



### 3. 土木業

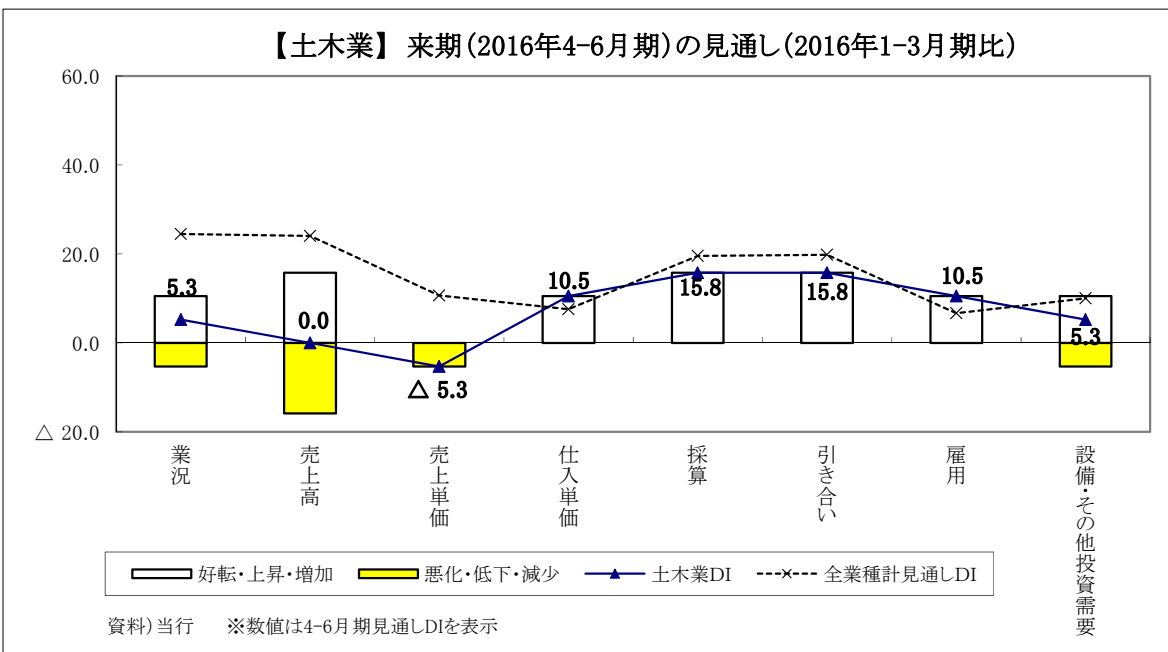
#### a. 当期の状況(2016年1-3月期の前年同期比)

業況DIは 47.4 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。那覇空港関連工事など公共工事の受注増加から、売上高・採算・引き合いが増加しています。一方、一部では人手不足による工事受注への影響を懸念する事業者もみられます。



#### b. 来期の見通し(2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

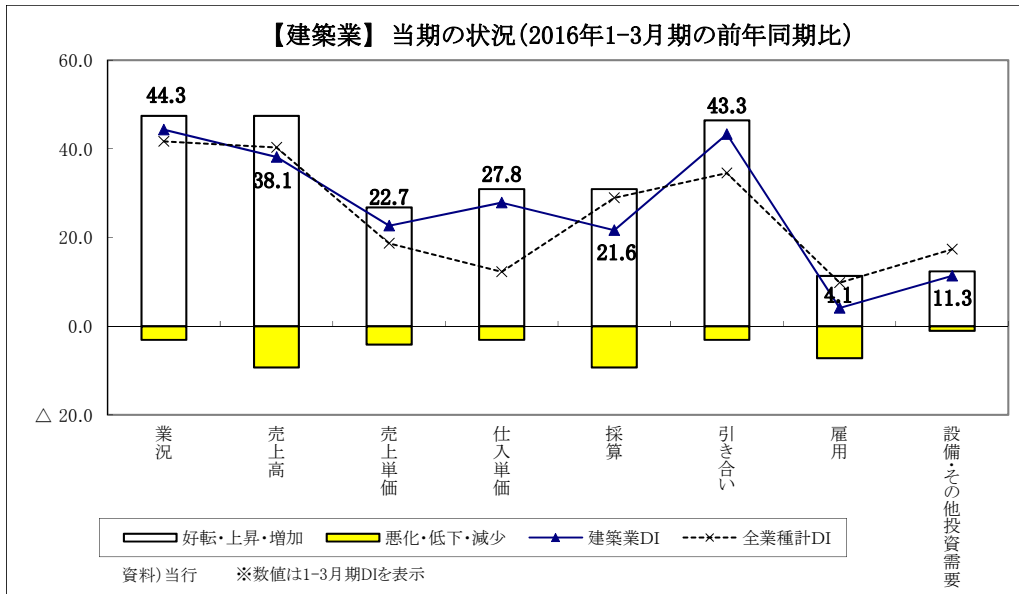
見通し業況DIは 5.3 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、新年度も公共工事の受注増加などが見込まれることから、採算・引き合いの増加が期待されます。一部では、今期(年度末)に完成工事高が集中する反動などにより、売上高の減少を見込む事業者もみられます。



#### 4. 建築業

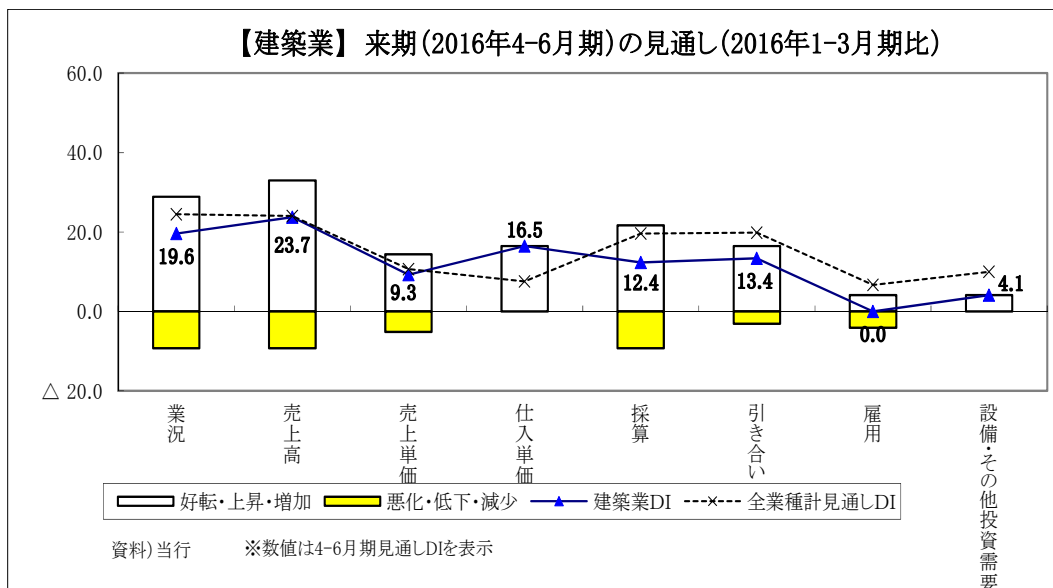
##### a. 当期の状況(2016年1-3月期の前年同期比)

業況DIは44.3となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共工事(空港、基地内、学校建替え等)・民間工事(マンション、ホテル等)の受注増加などから売上高・引き合いが増加しているほか、民間工事の一部では消費増税に向けた駆け込み需要が始まっているとの意見がみられます。一部では資材価格や人件費の高騰が落ち着き、採算が改善しているという事業者もありますが、その一方で、継続的な人手不足から受注を断念している事業者などもみられます。



##### b. 来期の見通し(2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

見通し業況DIは19.6となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、公共・民間工事の受注増加が見込まれ、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。一方で、一部では新年度始めは工事受注が落ち着く時期との見方から業況悪化を見込む事業者や、継続的な人手不足などから受注を断念している事業者がみられます。

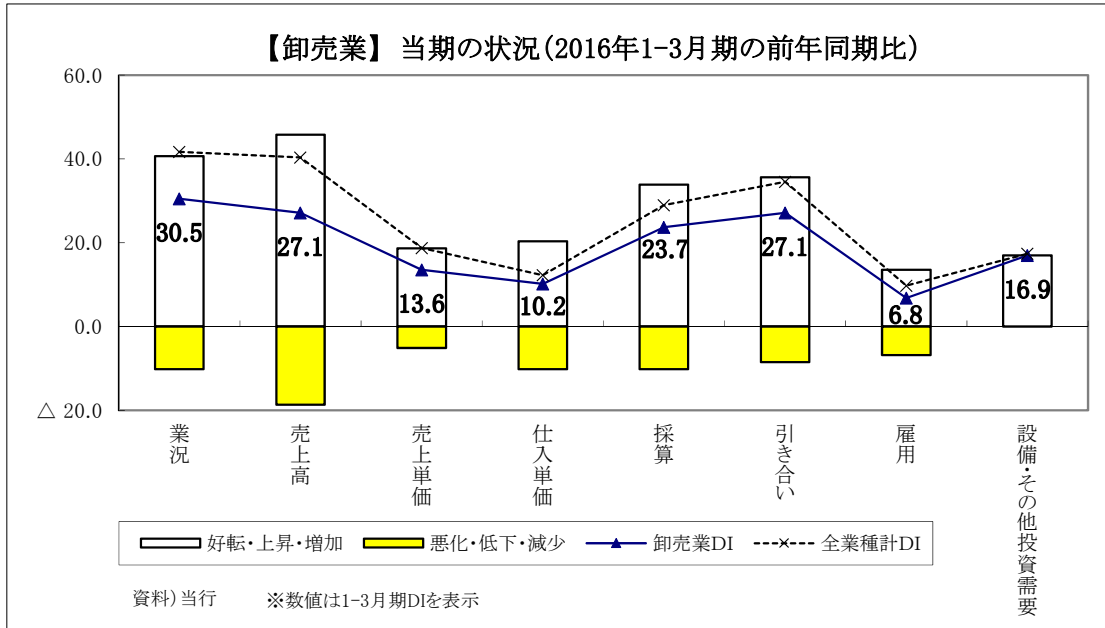




## 5. 卸売業

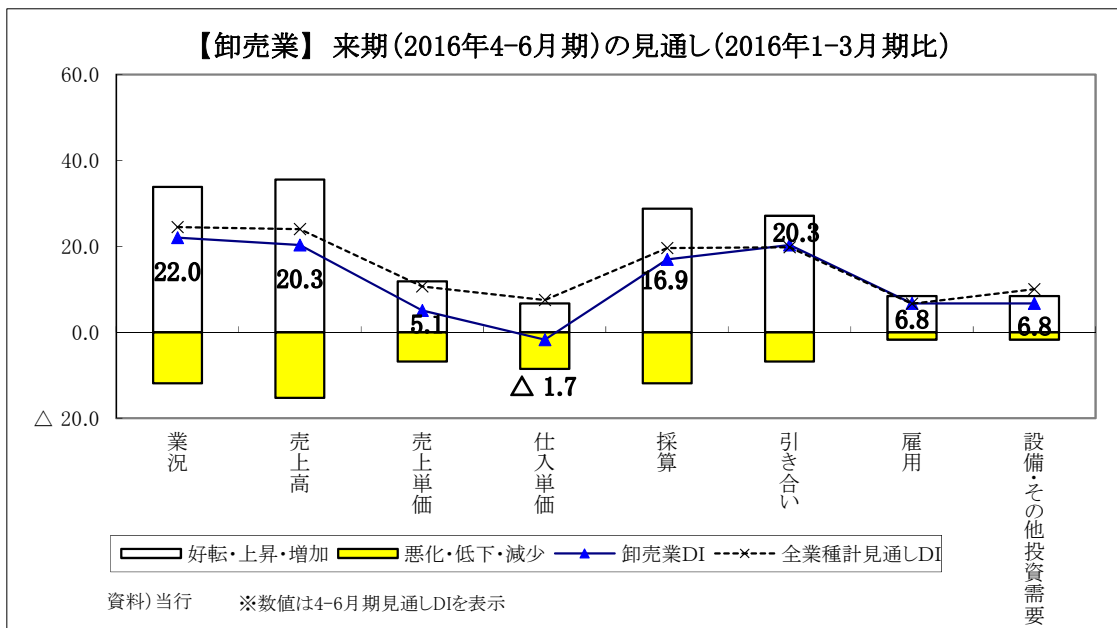
### a. 当期の状況(2016年1-3月期の前年同期比)

業況DIは30.5となり、全体としては業況改善の動きがみられます。食品、土産品、家電卸売業では、国内外観光客の需要増加や大型商業施設等への販路拡大などにより、売上高・引き合いが増加しています。また、石油・ガス卸売業では原油安から仕入単価が減少しているほか、一部の建築資材卸売業では為替の影響などから仕入単価が減少し、採算が改善している事業者がみられます。



### b. 来期の見通し(2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

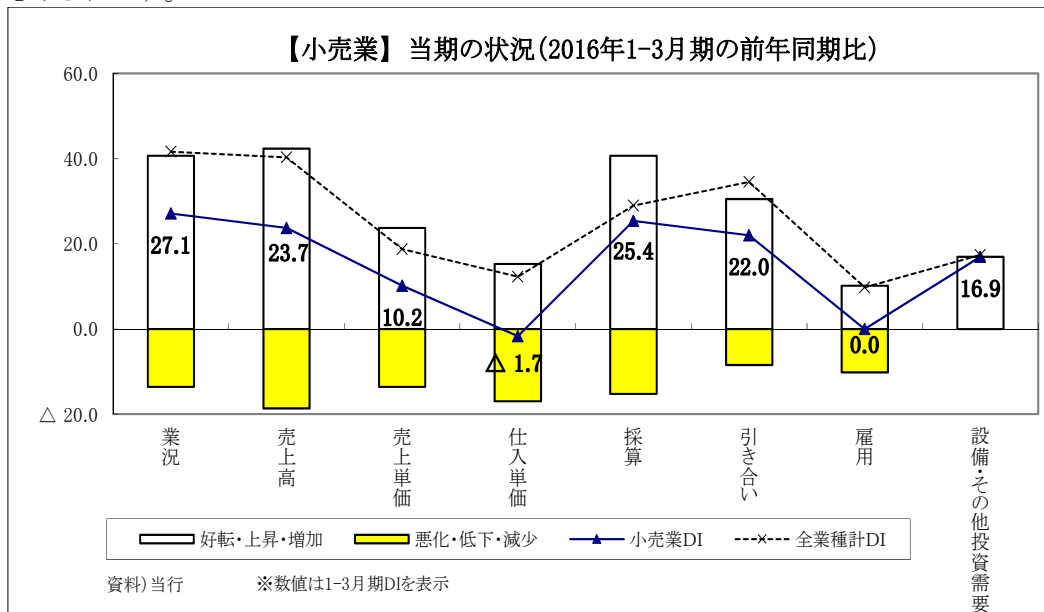
見通し業況DIは22.0となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。建築資材卸売業などでは、引き続き、公共・民間工事の受注増加や為替の影響による仕入単価の減少などから、売上高・採算の増加が見込まれます。食品、土産品卸売業では、ゴールデンウィークなど国内外観光客の需要増加を見込んでおり、売上高・引き合いの増加が期待されます。一方で、石油・ガス卸売業では、原油価格の変動から仕入単価や採算への影響を懸念している事業者もみられます。



## 6. 小売業

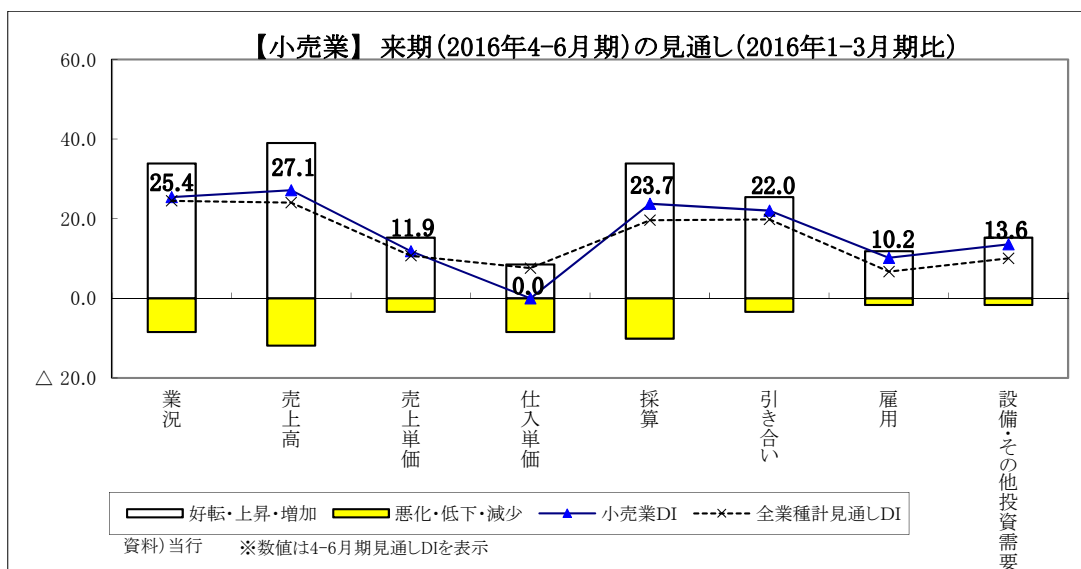
### a. 当期の状況(2016年1-3月期の前年同期比)

業況DIは27.1となり、全体としては業況改善の動きがみられます。観光土産品、衣料品、雑貨販売業では、国内外観光客の需要増加などから、売上高・採算・引き合いが増加しています。ガソリン・ガス販売業では、原油安による仕入単価減少の影響から売上高・売上単価が減少しているものの、採算には大きな影響はみられていません。一方で、一部では修学旅行やインバウンド(訪日観光客)需要の落ち着きから、売上高や採算が悪化している事業者もみられます。



### b. 来期の見通し(2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

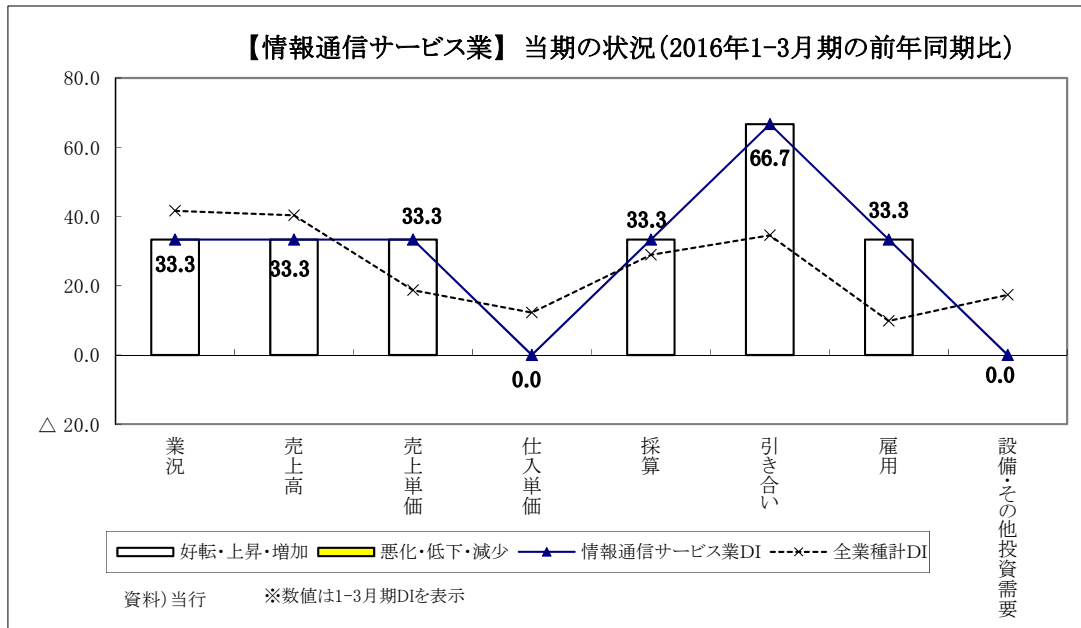
見通し業況DIは25.4となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。観光土産品、衣料品、雑貨販売業では、引き続き、ゴールデンウィークなどに向けた国内外観光客の需要増加を見込まれており、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。また、自動車、家電販売業では、季節要因(新年度、新学期、買い替えシーズン)や新規出店などによる需要増加を見込んでおり、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。



## 7. 情報通信サービス業

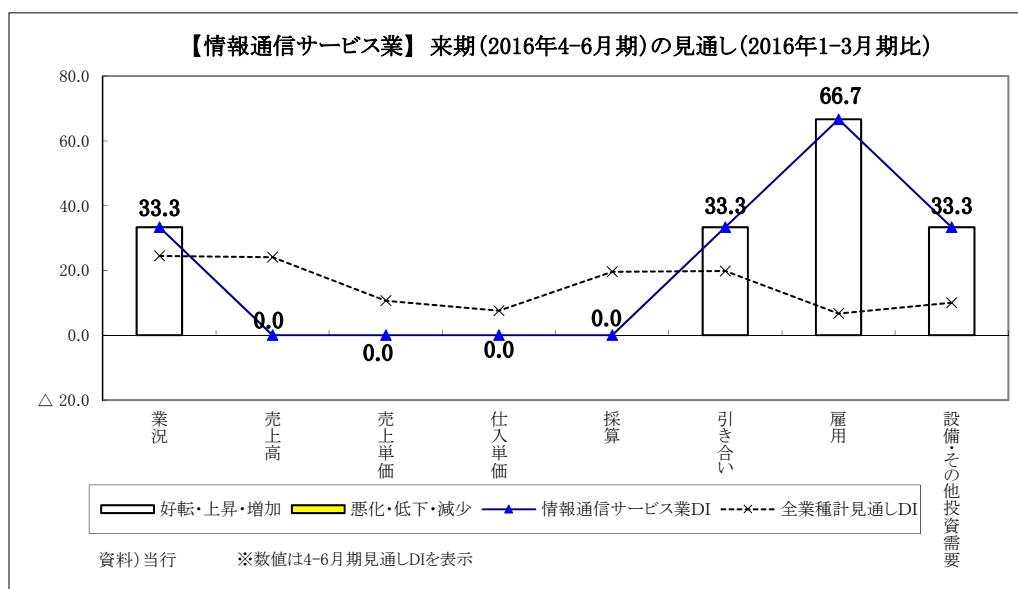
### a. 当期の状況(2016年1-3月期の前年同期比)

業況DIは33.3となり、全体としては業況改善の動きがみられます。日刊新聞業では、景況の良さを反映し広告需要が増加しているほか、求人広告業では、継続的な人手不足による求人需要の増加などから、売上高・採算・引き合いの増加がみられます。



### b. 来期の見通し(2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

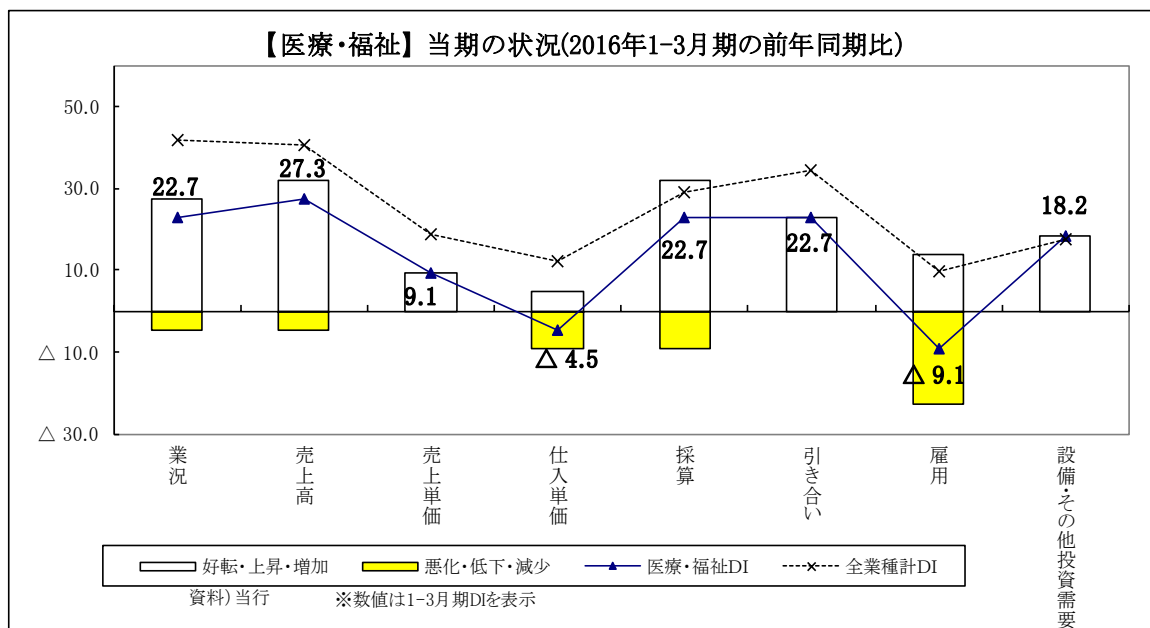
見通し業況DIは33.3となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、求人広告業では求人需要の増加が見込まれており、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。また、求人広告、日刊新聞業では雇用増加に取り組む動きもみられます。



## 8. 医療・福祉

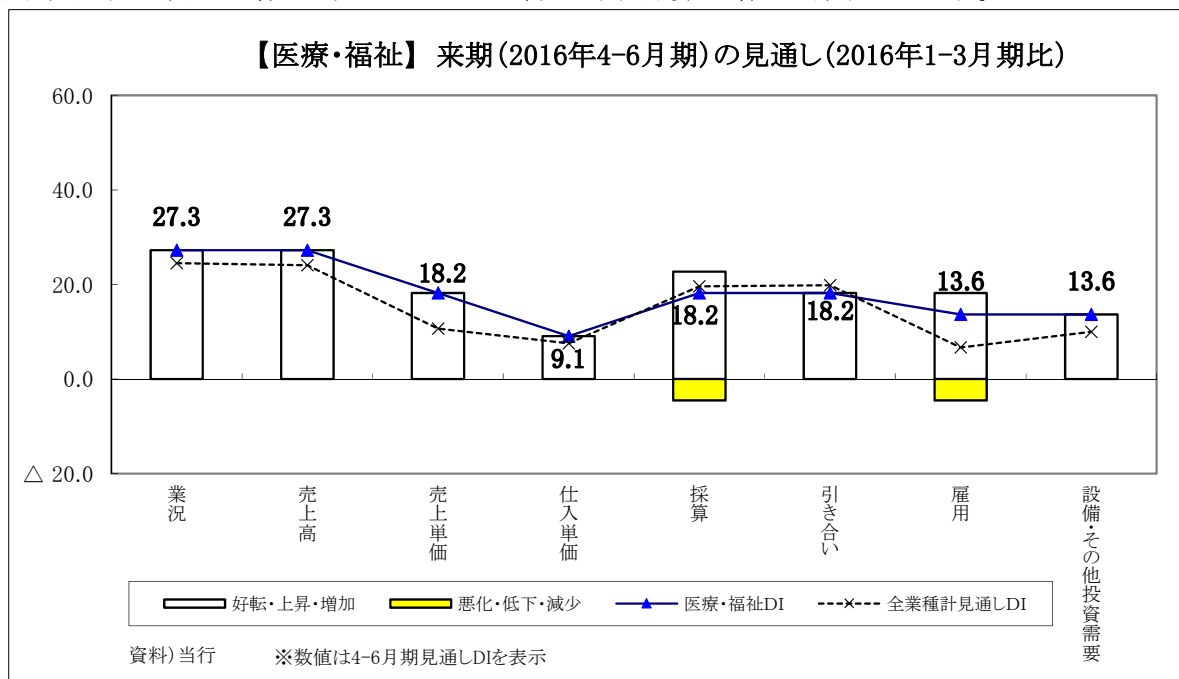
### a. 当期の状況(2016年1-3月期の前年同期比)

業況DIは 22.7 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。総合病院、介護サービス、調剤部門などでは、患者数の増加や経費削減などにより、売上高・採算が増加している事業者がみられます。一方、一部では、介護・福祉サービス部門や技術技士などの人手不足から人員確保が進んでいない事業者や為替の変動による医療機器価格への影響を懸念している事業者もみられます。



### b. 来期の見通し(2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

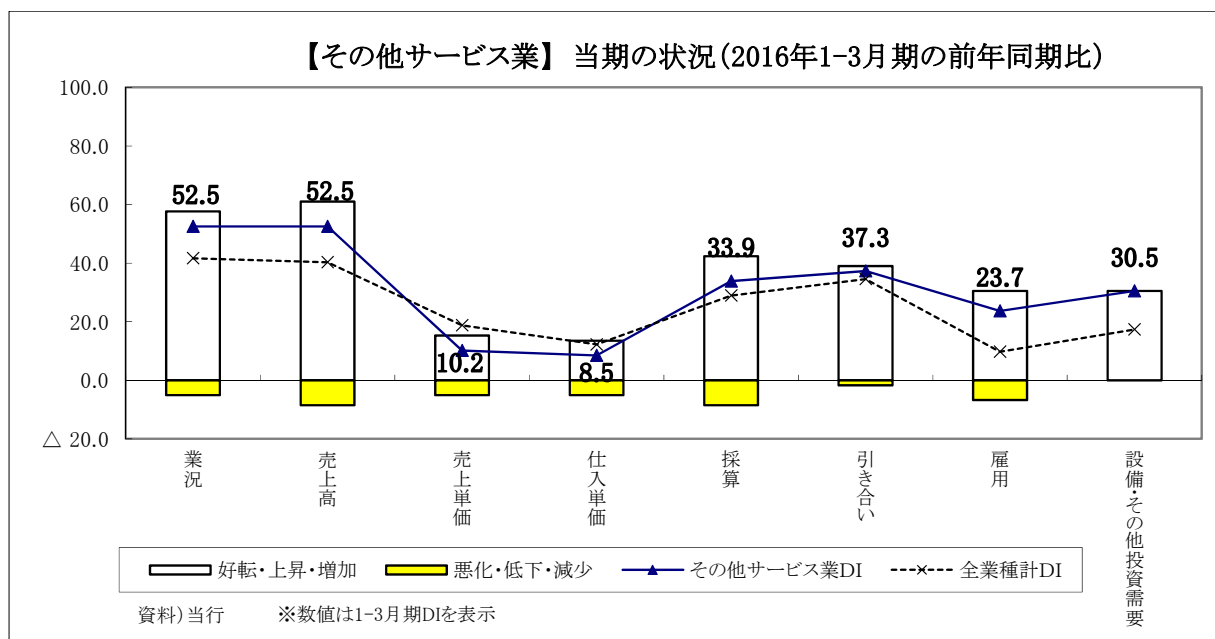
見通し業況DIは 27.3 となり、全体としては業況改善の動きがみられ、医療施設の経営環境は堅調に推移することが見込まれます。また、一部の医療・介護・老健施設では、総合病院の新築移転や新規事業所の開設などによる外来利用者や雇用の増加が見込まれるなど、売上高・採算の増加が期待されます。



## 9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)

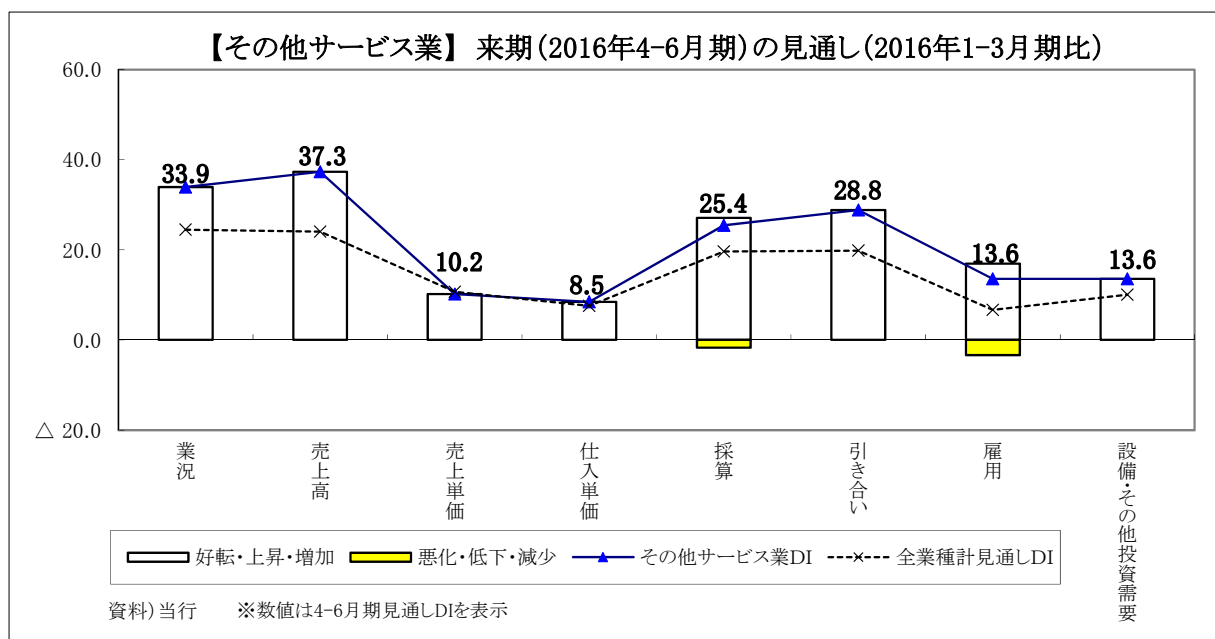
### a. 当期の状況(2016年1-3月期の前年同期比)

業況DIは52.5となり、全体としては業況改善の動きがみられます。宿泊、飲食業(ラーメン店、居酒屋、焼肉店など)では、国内外観光客需要の増加などから、売上高・採算・引き合いが増加しています。また、一部の事業者では、海外代理店との提携や外国語対応スタッフの雇用増加など、インバウンド対応強化の動きがみられます。一方で、一部では人手不足による人件費の増加などから採算が悪化している事業者もみられます。



### b. 来期の見通し(2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

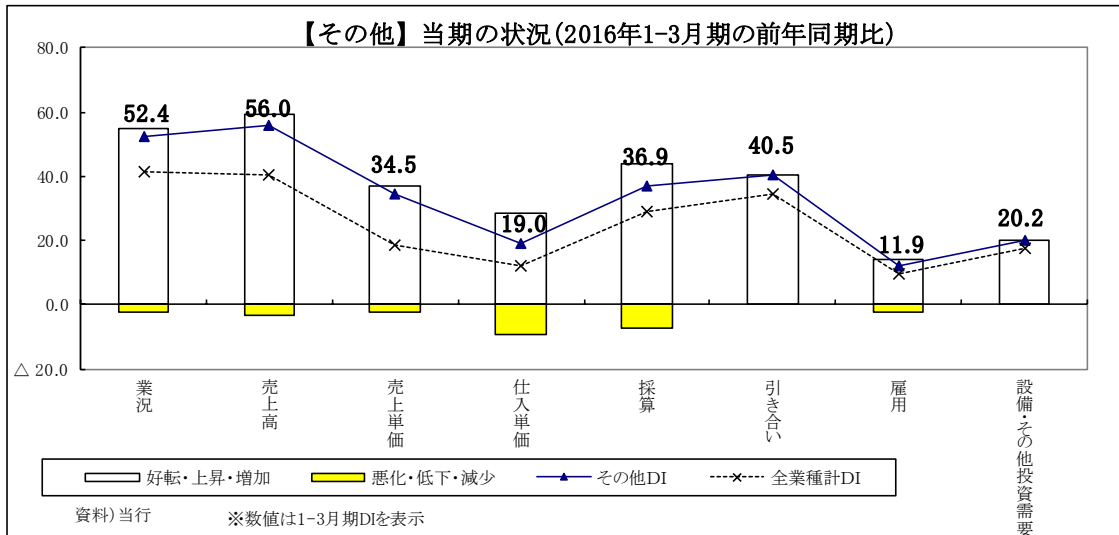
見通し業況DIは33.9となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、宿泊、飲食業などでは、国内外観光客の需要増加や新規出店、販路拡大が見込まれていることなどから、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。一方で、継続的な人手不足の影響から雇用の確保を懸念する事業者や、原油価格の変動による採算への影響を懸念している事業者も一部で見られます。



## 10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

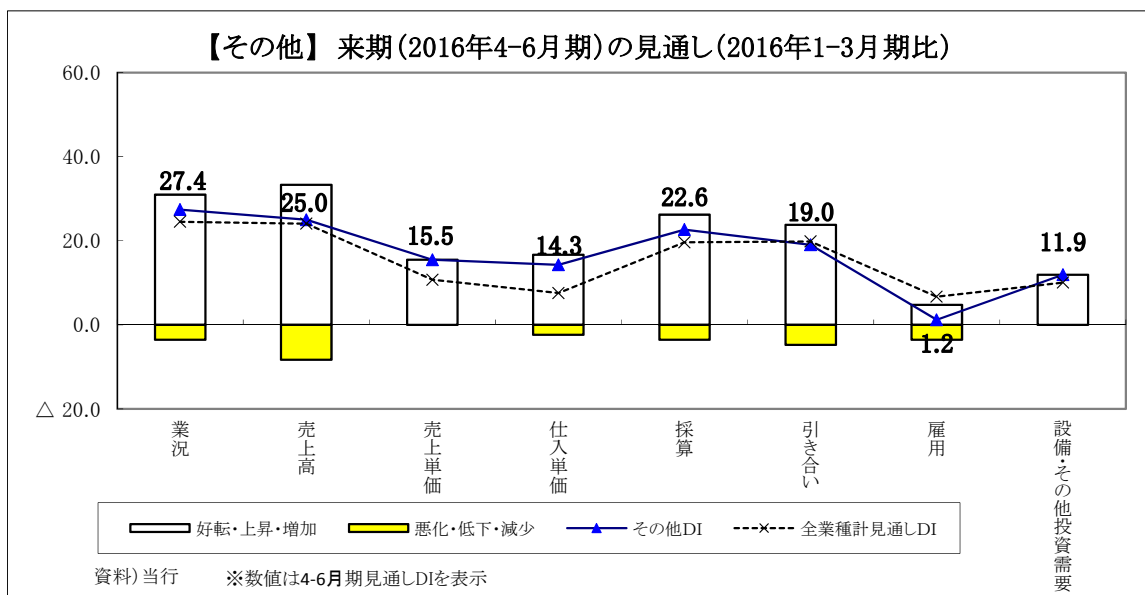
### a.当期の状況(2016年1-3月期の前年同期比)

業況DIは52.4となり、全体としては業況改善の動きがみられます。測量・設計・リース業では公共・民間工事の受注増加から、運輸業では国内外観光客の需要増加や原油安の影響による仕入単価減少などから、売上高・採算・引き合いの増加がみられます。また、一部の不動産業(販売・仲介・管理)では、消費増税に向けた新築・中古物件の取引が増えているとの意見もみられます。



### b.来期の見通し(2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

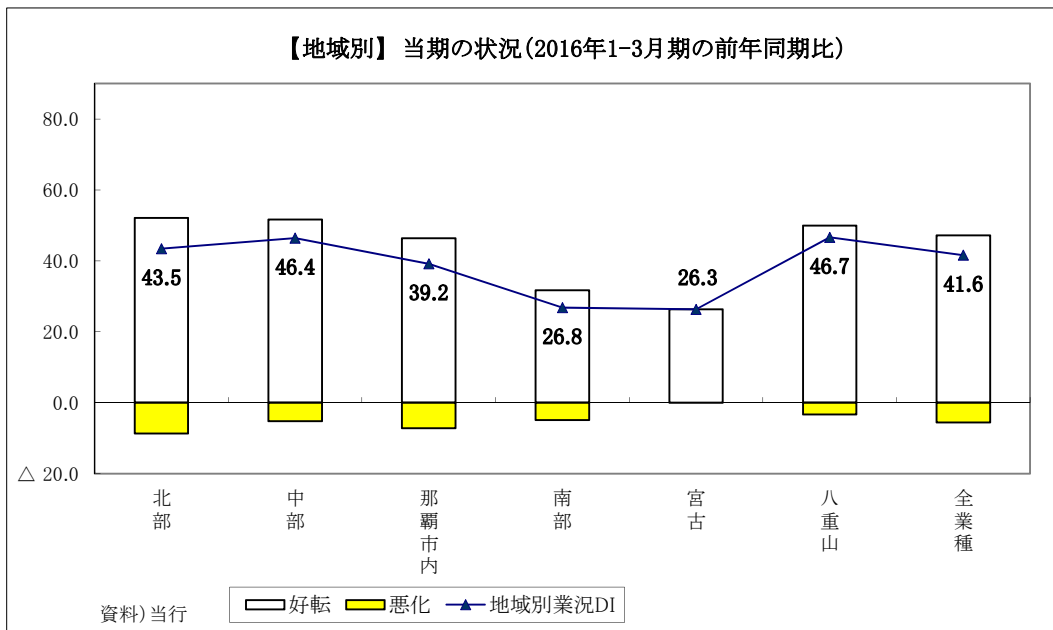
見通し業況DIは27.4となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、測量・設計・リース業では公共・民間工事の受注増加などから、運輸業では国内外観光客の需要増加などから、売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。また、一部の不動産業では、新年度に向けた引き合いの増加などから、業況改善の動きが見込まれます。



### Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

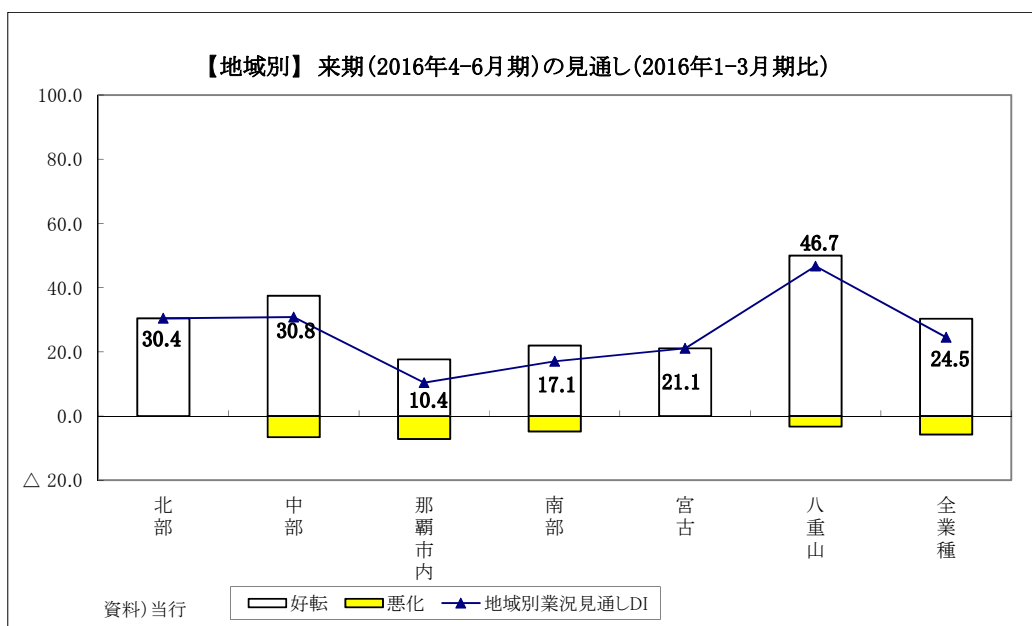
#### 1. 当期の状況(2016年1-3月期の前年同期比)

地域別業況DIは、国内外観光客需要の増加や公共・民間工事の受注増加がみられる八重山地区(46.7)や北部地区(43.5)をはじめ、各地域において、観光関連(宿泊・小売・運輸業等)や建設関連(土木・建築業等)が好調に推移していることなどから、全ての地域で業況改善の動きとなりました。



#### 2. 来期の見通し(2016年4-6月期の2016年1-3月期比)

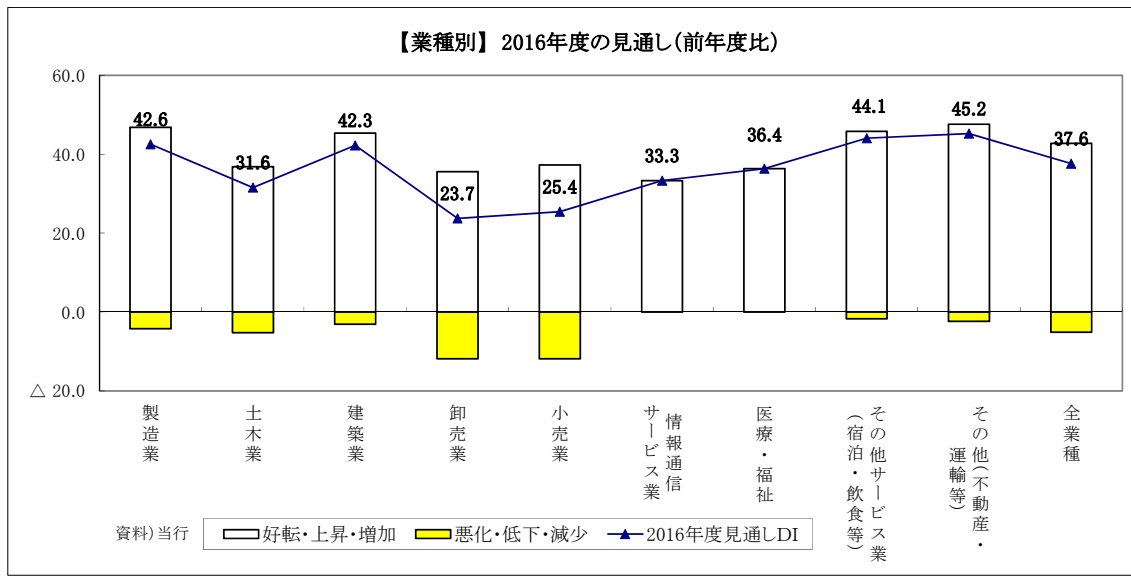
地域別業況見通しDIは、引き続き、全ての地域で業況改善の動きが期待されます。引き続き、国内外観光客の需要増加が見込まれる八重山地区(46.7)や、民間工事の受注増加が見込まれる中部地区(30.8)をはじめ、各地域において、新年度に向けた需要増加が見込まれることから、業況の改善が期待されます。



### Ⅲ. 調査結果(3) ～2016年度の見通しDI(2015年度比)～

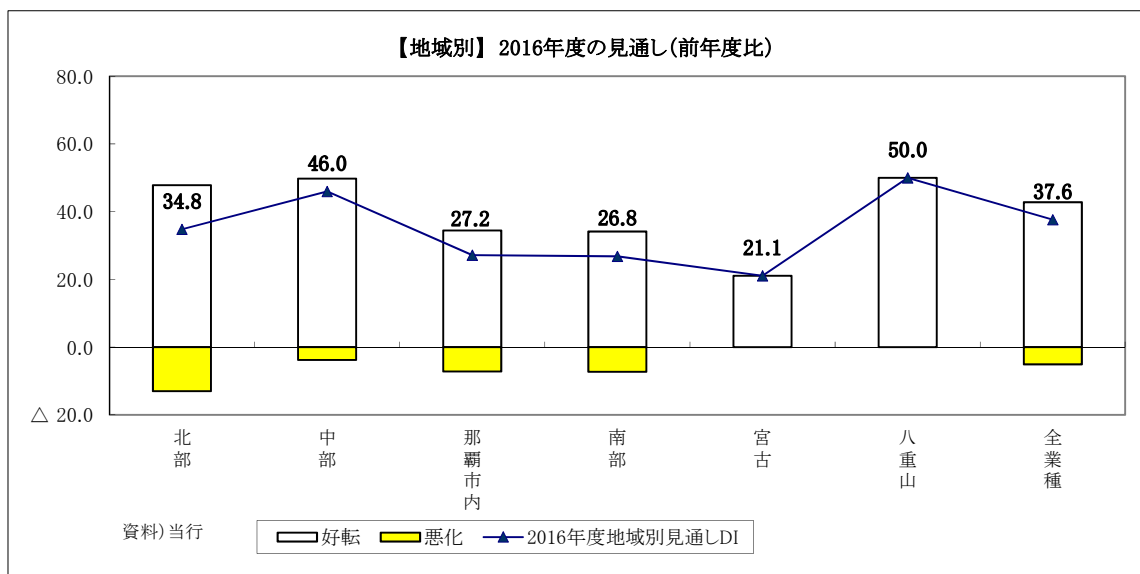
#### 1. 業種別見通し

2016年度見通しDIを見ると、公共・民間工事の増加や国内外観光客の増加などのプラス要因により、全ての業種において2015年度と比較して、業況改善の動きが見込まれています。一部の卸売業や小売業では、為替や原油価格の変動による仕入単価や採算への影響を懸念する事業者がみられるほか、幅広い業種で継続的な人手不足への懸念がみられるものの、年度全体では改善の動きが見込まれています。



#### 2. 地域別見通し

2016年度の地域別見通しは、本島及び離島の全地域で業況改善の動きが見込まれます。特に、八重山地区では、クルーズ船の寄港回数増加やLCC就航などによる国内外観光客の需要増加が期待されるなど、その他サービス業(宿泊、飲食業等)をはじめ、様々な業種で好転が見込まれています。





#### IV.まとめ

##### 【当期の業況DI】

- ① 当期（2016年1-3月期）の業況DIは**41.6**ポイント（前年同期比）となり、業況改善の動きとなりました。
- ② **観光関連（飲食、宿泊、運輸業など）**では、入域観光客数が好調に推移（1月＝9.7%増、2月＝13.0%増：いずれも前年同月比）していることや原油価格の変動などから、売上高・採算・引き合いが増加しています。一部ではインバウンド（訪日観光客）需要への対応強化の動きもみられます。一方で、一部では人手不足による人件費の増加などから採算が悪化している事業者もみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ③ **建設関連（土木、建築、測量、設計など）**では、公共工事（空港、基地内、学校建替え等）・民間工事（マンション、ホテル等）の受注増加などから売上高・引き合いが増加しているほか、民間工事の一部では消費増税に向けた駆け込み需要が始まっていることなどから、業況は改善しています。一部では資材価格や人件費の高騰が落ち着いたことなどから、採算の改善している事業者もありますが、その一方で、継続的な人手不足感から受注を断念している事業者などもみられます。全体としては業況改善の動きがみられます。
- ④ **小売業（観光土産品、ガソリン、ガス販売など）**では、原油安による仕入単価の減少や国内外観光客需要の増加などから、売上高・採算・引き合いが増加しています。一部では修学旅行やインバウンド（訪日観光客）需要に落ち着きが見られることから、売上高や採算が伸び悩んでいる事業者もみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。

##### 【来期の見通し業況DI】

- ① 来期（2016年4-6月期）の見通し業況DIは**24.5**ポイント（2016年1-3月期比）となり、引き続き、業況改善が期待されます。
- ② **観光関連**では、国内外観光客の需要増加や新規出店、販路拡大が見込まれていることなどから、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。継続的な人手不足の影響から雇用の確保を懸念する事業者や、原油価格の変動による採算への影響を懸念している事業者も一部で見られますが、全体としては業況改善の動きが見込まれます。
- ③ **建設関連**では、公共・民間工事の受注増加が見込まれ、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。一部では新年度始めは工事受注が落ち着く時期との見方から業況悪化を見込んでいる事業者や、継続的な人手不足などから受注を断念している事業者がみられますが、全体としては業況改善の動きが見込まれます。
- ④ **小売業**では国内外観光客の需要増加、季節要因（新年度、新学期、買い替えシーズン）、新規出店などが見込まれていることなどから、売上高・採算・引き合いの増加が期待されており、全体としては業況改善の動きが見込まれます。

（おきぎん経済研究所 研究員 高良 圭）